

WELLBEING

指導部通信

Date:2025.Oct.22 Vol.19

丸岡南中学校生徒指導部

文責：荒井啓臣

冬季の生活に向けて

ようやく暑さも和らぎ、朝夕は少し肌寒く感じる日が多くなってきました。11月4日（火）からは更衣（完全更衣）となります。冬季の身なりや生活についてのきまりを再度確かめておきましょう。

○冬季の服装（防寒着）について

- ◆冬季は制服の下にセーター・ベスト・トレーナー・カーディガンを着用してもかまいません。色は白・黒・グレー・紺・茶系統の単色・無地のものを身につけよう。ただし、ネクタイが隠れるものはさけよう。
★制服の下に着るカーディガンやトレーナー等は、制服から極端にはみ出さないようにしよう
（袖は、親指がすべて見える長さ、丈はお尻が隠れない長さ）。
- ◆コートは、派手な色のものや高価なものはさけよう。また、極端に丈の長いものや短いもの、**パーカー、カーディガンを着用しない**ようにしよう。部活動で指定されているウインドブレーカー等を着用してもかまいません。
- ◆自転車通学用のレインコート・雨カッパは明るい色を使用しよう。
- ◆マフラーは長すぎて危険のないように着用しよう。
- ◆冬季間のスノートレーニングシューズ、ブーツは、派手でないものをはこう。ブーツは靴下がかかる程度の長さで、厚底やロングブーツはやめよう
★ワークブーツの使用はフォーマルな着こなしの観点からさけましょう。

○登下校について

日の入りが早くなり、部活動終了後の下校時間帯はずいぶん暗くなっています。特に下校時の交通安全に気をつけましょう。

- ・自転車のライトの点灯やリフレクターの有無を確かめておきましょう。
- ・暗くなってからの下校時は必ず点灯しましょう。
- ・天候の大きく変化する季節ですので、カッパや傘の準備をしておきましょう。
- ・家の人の車で送迎してもらう場合は、西側や北側駐車場を利用します。
- ・家の人に送迎してもらうときは、事前に下校時刻を知らせておきましょう。公衆電話はなるべく使わず、予定していた下校時刻が変わったときのみ、利用するようにしましょう。

※保護者の方へ　冬季は送迎等で学校付近が登下校時は大変込み合います。事故がないよう気をつけてください。

○後期認証式を経て…

10月14日に認証式がありました。校長先生からは、生徒会というものは「山登り」に似ているという内容の説話がありましたね。皆さんはしっかりと覚えていますか？

1. “どんな山に登るか”それを考えるのが、「目標づくり」です。
2. “どんなルートで登るか”それを考えるのが、「どんな企画や運営を考えるか」です。
3. 山を登っていくと、坂道もあれば、ぬかるんだ道もあります。思うように進めないこともあります。けれど、山登りで一番大事なのは、“ひとりで登らないこと”仲間と声をかけ合い、励まし合い、支え合うことです。

苦労して登った先で見える景色は、きっと特別なものになるでしょう。ということでしたね。この話を聞いて数年前、あるコンサルタントの方とお話ししていたときに、「3」という数

字が持つ不思議な力について伺ったことを思い出しました。三本の矢の話のように、三つそろうと強くなる。それが人にも集団にも深く作用すると…そんな話の中で印象に残っているのが、「3 C」や「4 C」という言葉です。いろいろな分野で大切とされる言葉の頭文字をとって表したもので、人生にもつながる示唆があります。いくつかお伝えします。

まずは「4 C」。これは、ダイヤモンドの価値を決める4つの基準のことです。

Cut (カット) — 形の美しさ。Color (カラー) — 色の透明感。

Clarity (クラリティー) — 透明度。Carat (カラット) — 重さ。

たった一つの石にも、4つの要素が調和してこそ、本当の輝きが生まれます。どれか一つ欠けても、ダイヤモンドはその価値を失ってしまうのです。人も同じです。心、言葉、行動、努力—どれか一つだけなく、4つがそろってこそ、その人の輝きが見えてきます。

次に「3 C」。これは、今のみなさんに特に伝えたい言葉です。

それは、Chance (チャンス) — 好機 Challenge (チャレンジ) — 挑戦 Change (チェンジ) — 変化 の3つ。

中学校生活も折り返しを過ぎ、3年生は卒業と受験という大きな節目に向かっています。チャンスは、待っていても来ません。勇気をもって挑戦する人にこそ訪れます。そして、挑戦を続ける人だけが、少しずつ自分を変えていける。この3 Cを意識して歩みを進めている人ほど、表情が変わり、目の輝きが変わってきます。まさに「人が成長する瞬間」です。

ビジネスの世界でも、スポーツの世界でも、成功する人はこの3 Cを大切にしています。スポーツでは、心のコントロール、試合に向かう集中力、そして万全のコンディション。

ビジネスでは、どんな時もお客様を思い、仲間と協力し、挑戦を恐れない心を持ち続けること。難しい言葉で言えば経営理論ですが、実はどれも「人としての姿勢」です。つまり、どんな分野でも、3 Cは“人の心を成長させる共通言語”なのです。

最後に、以前担任していました、ある卒業生からのメールを紹介します。(HBD Mailです…)
彼女は、就職内定が決まったということ。中学の時に話したウォルト・ディズニーの4 Cの話で、自分の将来を決めることができたと言ってくれました。さらに、当時学活で紹介した「ドナルドの算数マジック」の映像を授業で見て感動したと教えてくれました。中学生の頃に心に残った話が、数年後の学びやミライへとつながっている。そんな瞬間に出会えたことが、私は本当にうれしかったです。その時の4 Cの話は、下のようなものです。

(3年生の受験生へ読んでみて。)

ウォルト・ディズニーは、「夢を叶える4 C」をこう語っています。

“Somehow I can't believe there are any heights that can't be scaled by a man who knows the secret of making dreams come true.

This special secret, it seems to me, can be summarized in 4C's. They are curiosity, confidence, courage and constancy, and the greatest of these is confidence.”

— Walt Disney

訳すると、…

「夢を実現する秘訣を知る人には、登れない高みなどない。その秘訣は4つのCにまとめらる。好奇心 (Curiosity) 、確信 (Confidence) 、勇気 (Courage) 、そして継続性 (Constancy) 。この中で最も大切なのは確信である。何かを信じるなら、全面的に疑いなく信じ抜きなさい。」



ダイヤモンドの4 Cも、夢を叶える4 Cも、そしてみなさんの3 Cも、根っこは同じです。

「信じる力」が人を輝かせる。自分を信じること。仲間を信じること。未来を信じること。その信じる力が、どんな壁も乗り越える原動力になります。

Chance (チャンス) をつかみ、Challenge (挑戦) し、Change (変化) を恐れない。

そして、Curiosity (好奇心) を持ち、Confidence (確信) を持ち、Courage (勇気) を忘れずに歩んでいってほしいと思います。